

第 38 回 味覚障害のおはなし

「味がしない」「いつもと違う味がする」といった症状で受診される方がいます。味覚障害には、味を感じにくくなるものと、甘いものが苦く感じるなど味が変わって感じられるものがあります。

原因として最も多いのが亜鉛不足です。亜鉛は味を感じる細胞の働きや新陳代謝に重要な役割を果たしています。そのほか、鉄欠乏やビタミン B12 欠乏による舌炎、シェーグレン症候群などによる口の渇きも原因となります。口の中が乾燥すると、食べ物の成分が味覚細胞に届きにくくなるためです。また、高齢になると唾液の分泌低下や服用薬の影響などで亜鉛不足になりやすいことが知られています。

診断には血液検査で亜鉛や鉄、ビタミン B12 などを調べます。必要に応じて唾液分泌の検査や、耳鼻咽喉科での専門的な味覚検査を行うこともあります。

治療は原因に応じて行います。亜鉛不足が認められた場合には亜鉛を補充します。また、口の渇きや食欲低下などの症状に対して、漢方薬が有効な場合もあります。味覚障害が続く場合はご相談ください。



かわぐち消化器内科
Kawaguchi Gastroenterology Clinic

〒234-0054
横浜市港南区港南台 5-23-30 港南台医療モール 3F
TEL 045-830-5311 / FAX 045-830-5310
URL <http://kawaguchiclinic.net>



LINE お友達登録で当院のお知らせを配信しています。